

動労千葉

85. 10. 16

No. 2065

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五、六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

全ゆる手段で、動労千葉支援防衛す。

「1億円ストライキ基金」運動などを決定

十月十三日、動力車会館で動労千葉ジェット闘争支援共闘会議が、北原鉦治・浅田光輝両代表世話人をはじめ、各界、友誼単産・組織の代表四十名の参加のもと開催された。会議は、動労千葉の十一月末第一波を中心とする闘争支援に向け、①支援共闘の名称を「国鉄『分割・民営化』阻止、三里塚労農連帯、動労千葉支援共闘会議」と改めて継続・強化する。②「一億円支援基金運動」「ストライキ支持署名運動」を推進する。③「ストライキ支援―防衛行動に全国規模で取り組む」などを決定した。

闘う動労千葉を見殺しにするな
—— 浅田代表あいさつ ——

会議は、座長に北原鉦治氏を選んだのち、支援共闘会議世話人を代表して立正大学教授・浅田光輝氏より、「動労千葉の81・3ジェット闘争を支援し、共に闘いぬいてきた。今、国鉄労働運動解体攻撃に対し動労千葉はまようことなく決起しようとしている。日本中の労働者・人民がこの闘いを見殺しにしてはならない、動労千葉に続こう」と注目し起ちあがっている。動労千葉を守り、支援の輪を全国に拡大し、中曽根打倒を実現しよう」とのあいさつをうけた。

国鉄分割・民営化阻止、三里塚労農連帯、動労千葉支援共闘会議 結成される

ろうが断固決起する。81・3闘争は、労農連帯の闘いであつた。今回の闘いは、国鉄三十万労働者の闘いだ。全国の国鉄労働者は是非共に決起していただきたい。全力の支援をお願いしたい」と決意を表明し、訴えた。

動労千葉ストライキ支援の
具体的方針を決定

全参加者による討論を通し、次の具体的方針が満場一致で決定された。

- ① 十一月十七日、日比谷野音で開催される「11・17全国鉄労働者総決起集会」の圧倒的成功をかちとる。
- ② 「分割・民営化」阻止、動労千葉ストライキ支援の署名運動を展開する。
- ③ 今日まで、六千万円をこえた「ジェット闘争支援基金」はそのまま維持する。
- ④ 「動労千葉ストライキ支援一億円基金」運動を新たに展開する。
- ⑤ 動労千葉ストライキ戦術決定後の支援防衛行動に全国動員で総決起する。
- ⑥ 支援共闘の名称を「国鉄『分割・民営化』阻止、三里塚労農連帯、動労千葉支援共闘会議」と改め発展させる。

いかなる弾圧もはねのけ、必ず決起する
—— 中野委員長が特別報告 ——

動労千葉を代表して特別報告にたった中野委員長は、「第十回定期大会で、十一月第一波ストライキをはじめ、来年十一月まで数波のストライキで闘う方針を決定した。中曽根の狙いは、十万人の国鉄労働者の首切りをもってする国鉄労働運動―日本労働運動の解体と産報化だ。われわれの闘いに対し想像を絶する大弾圧がかかるだ

名支援組織の代表40名が参加。あいさつに立つ浅田代表世話人。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ。

